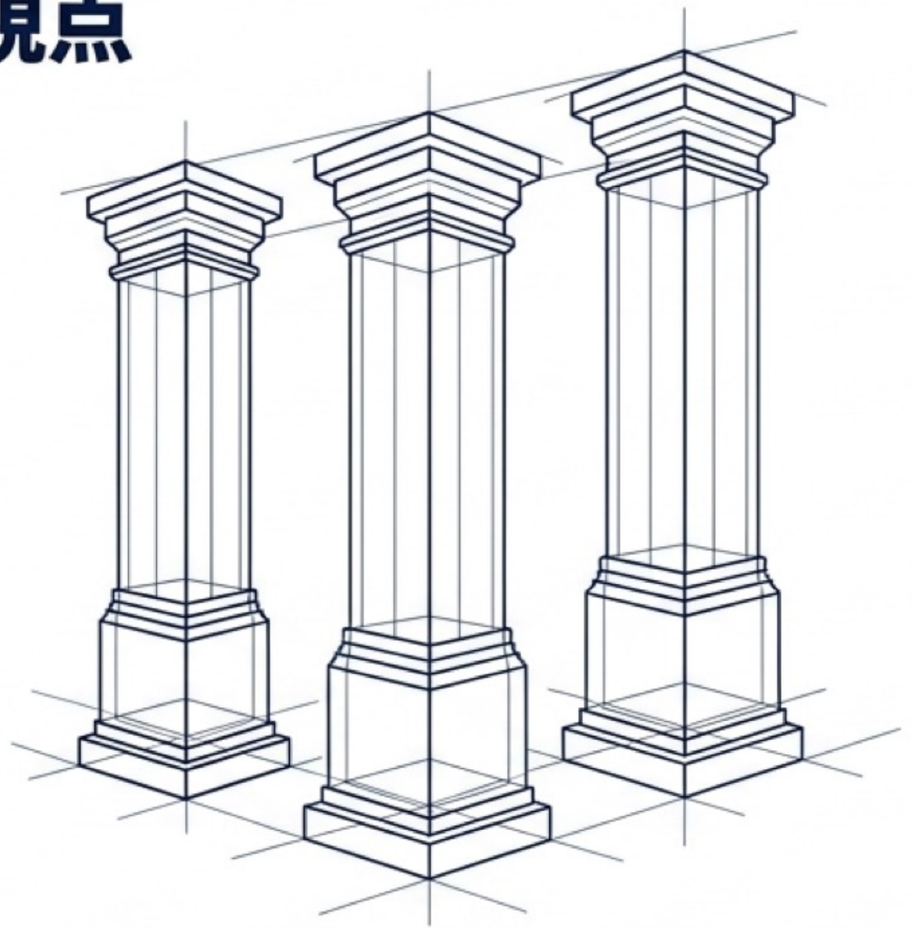
身体障害のある人材が長く活躍できる職場は、何が違うのか？

人事課題×就労支援　竹内一法

Gemini Notebook

TAKEAWAYS

この資料で持ち帰ってほしい3つの視点



身体障害のある方の採用や定着において
人事が考えるべきポイントを整理しました。

- 見えづらい負担に気づき環境を整える視点
- 過去の経験を活かし働き方を調整する視点
- 実習や外部連携を活用して定着を図る視点

Q. 自社で障害者雇用を進める際、もっとも不安に感じるのはどの部分ですか？

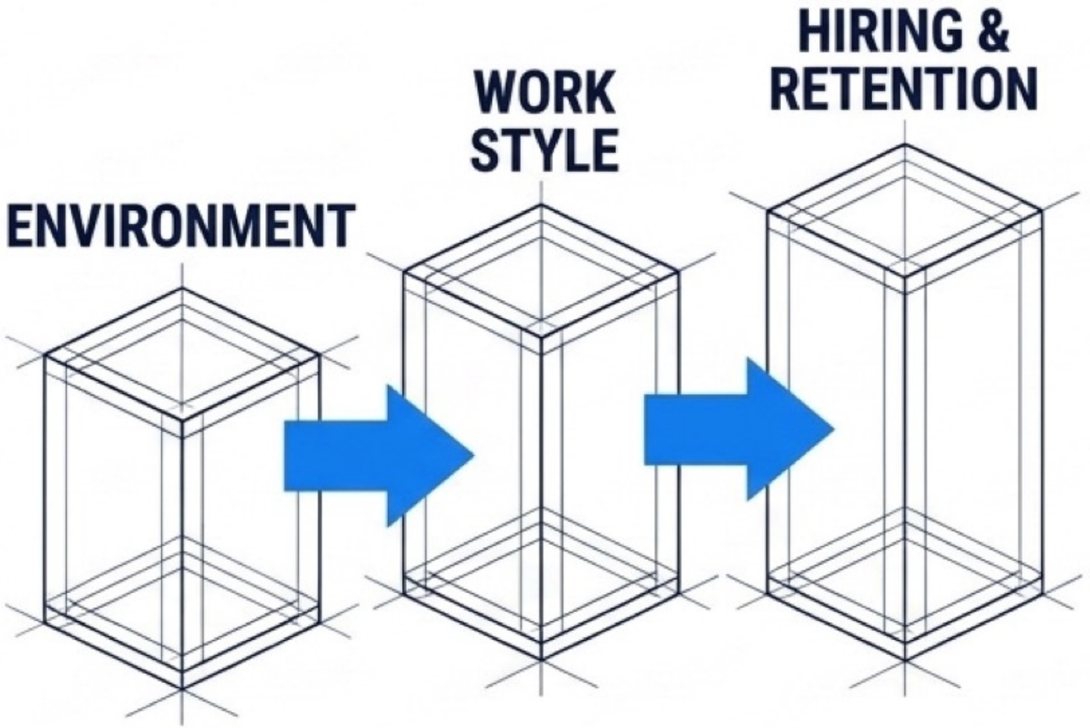
Gemini Notebook

OVERVIEW

採用から定着までを支える3つのアプローチ

身体障害のある人材が能力を発揮し
長く働き続けるためのステップです。

それぞれのアプローチが組み合わさることで
双方にとって安定した就労が実現します。

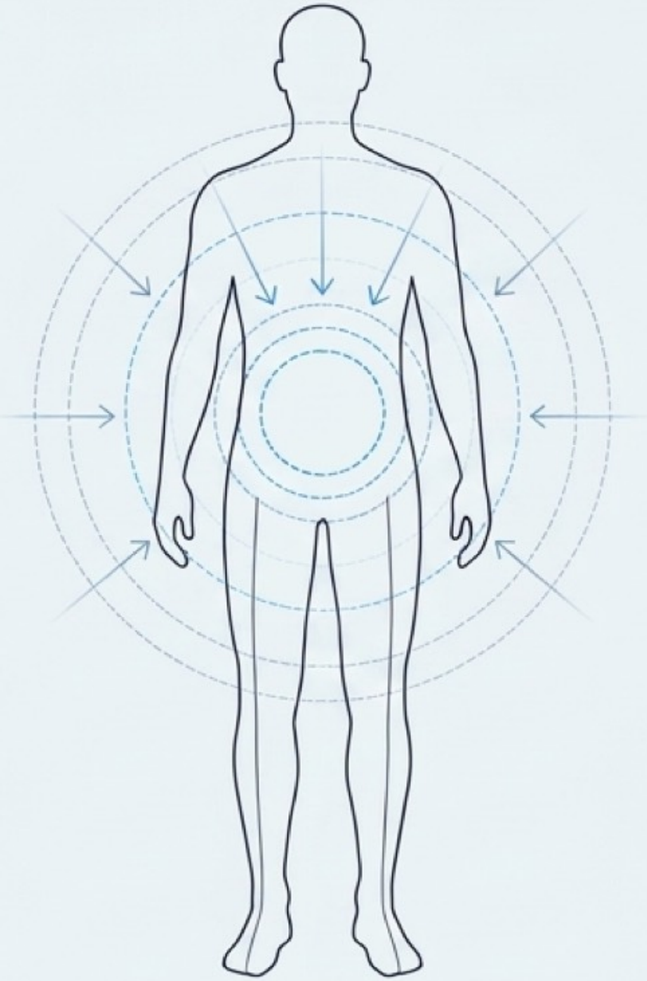


Q. 自社の受け入れ体制は、この3つのどの段階に課題がありそうですか？

Gemini Notebook

ENVIRONMENT

見えづらい身体的な負担を理解する



身体の障害は見た目には分かりにくいことが多く
無理をして業務過多になるリスクがあります。
現場の実感として障害を開示せずに働き
負担を抱え込んでいる方も少なくありません。
年齢による変化への不安を理解することが大切です。

Q. 見た目では分からない従業員の不調や負担に、どうすれば気づけるでしょうか？

Gemini Notebook

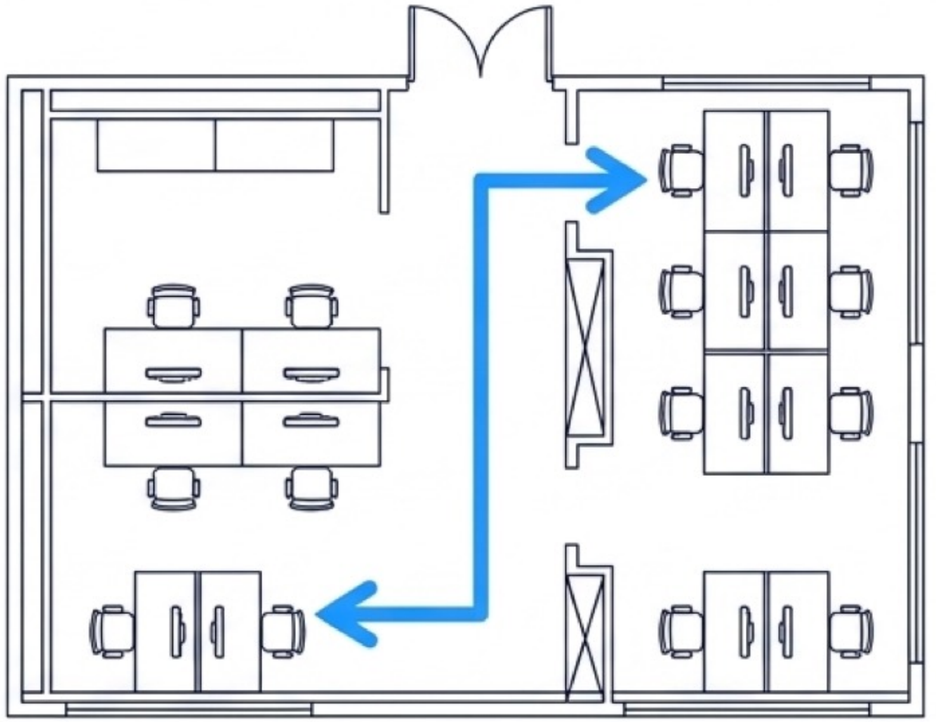
ENVIRONMENT

大規模な改修よりも日常の小さな環境整備を優先する

高額な設備投資がなくとも環境は整えられます。

- 歩く動線の配線を整え引っかかりを防ぐ
- 段差を避けエレベーターを利用しやすくする
- 入り口から近い席を割り当てる

日々の負担を取り除く工夫が定着につながります。



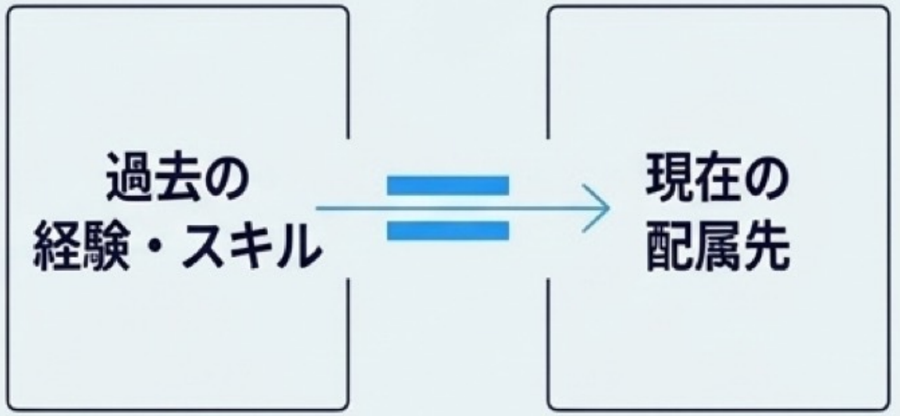
Q. 自社のオフィス環境で、明日からすぐに改善できる小さな工夫は何ですか？

Gemini Notebook

WORK STYLE

本人の持つ経験やスキルを最大限に活かす配置を行う

中途で障害のある状態になった方の多くは
豊かな実務経験や専門的なスキルを持っています。
しかし以前と同じ働き方が難しくなり
今後のキャリアに不安を抱えることは少なくありません。
職域を変えずに能力を発揮できる配置が求められます。



Q. 自社の中途採用において、候補者の過去の経験を正しく評価できていますか？

Gemini Notebook

WORK STYLE

今の身体の状態に合わせて働き方を柔軟に調整する

経験を活かす一方で働き方は柔軟に調整します。

- 出社と在宅ワークを組み合わせる
- 身体の負担が少ない業務へ職種変更する
- 定期的な通院や検査のための時間を確保する

柔軟な対応が優秀な人材の確保につながります。



Q. 自社の制度のなかで、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方はどこまで可能ですか？

Gemini Notebook

HIRING & RETENTION

面接だけでなく企業実習を活用して適性を見極める

実務経験のある方の採用では早期の就労を目指すため
長期間の訓練よりも企業実習の導入が有効です。
前例がないポジションであっても
まずは数ヶ月の実習期間を設けることで
業務の切り出し方を確認し双方のミスマッチを防げます。



Q. 自社の採用プロセスに、お互いを知るための「お試し期間」を設けることはできますか？

Gemini Notebook

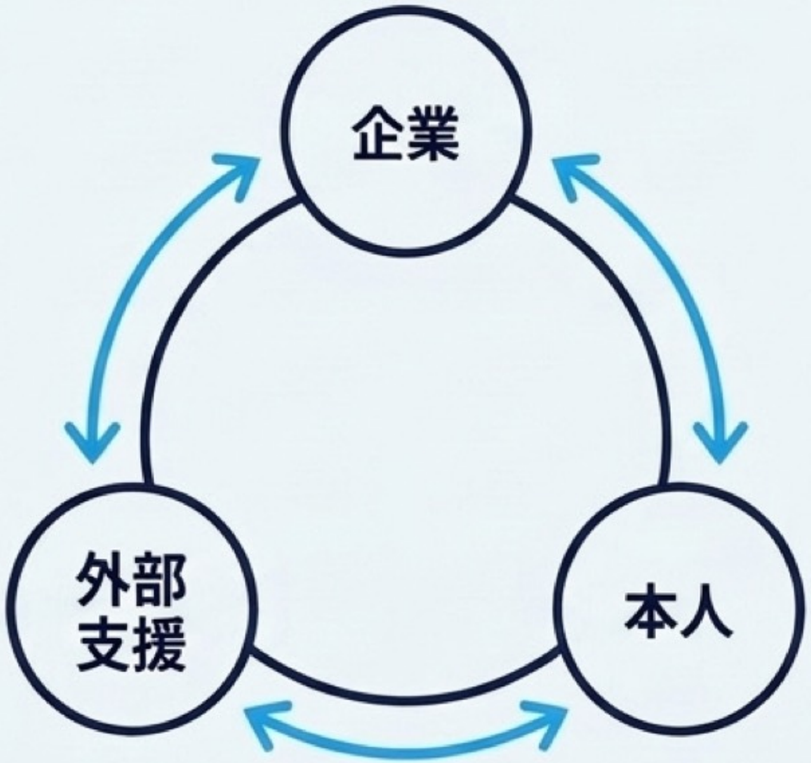
HIRING & RETENTION

支援機関や主治医と連携し定着への体制を築く

入社後も安定して働くためには外部連携が不可欠です。

- 就労支援の担当者が定期的に本人と面談する
- 上司と支援者が話し合い業務量を調整する
- 主治医に仕事内容を伝え医学的な助言をもらう

企業が抱え込まずチームでサポートする体制を作ります。



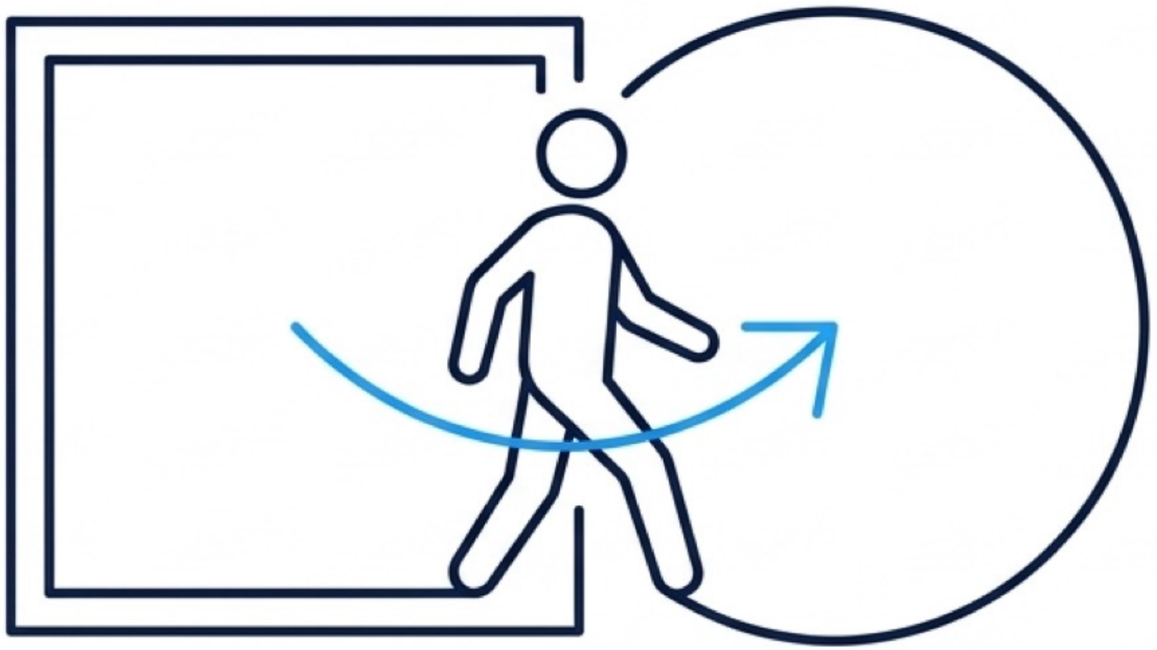
Q. 従業員のサポートにおいて、自社が気軽に相談できる外部の専門機関はありますか？

Gemini Notebook

HIRING & RETENTION

長く活躍するために最も重要なのは 新しい環境への素直さ

過去の成功体験に固執せず自社のルールに適応する柔軟で素直な姿勢が長く活躍するための鍵です。
支援機関は企業に代わり客観的な視点から本人の課題を指摘し成長を促す役割も担います。



Q. 自社の組織文化になじむために、候補者に最も求めているマインドセットは何ですか？

Gemini Notebook

見えづらい負担に気づき、環境を整える。
経験を活かし、働き方を調整する。
実習や連携を活用して、定着を図る。

これらの視点を持つことで、
身体障害のある方が能力を発揮し続ける職場を作ることができます。

次の一歩：まずは自社の環境を見直し、小さな工夫で負担を減らしましょう。

Gemini Notebook